

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	36208
----------	-------

1. 開設大学	広島都市学園大学	開催方法 (キャンパス・施設)	☒ 対面 (宇品キャンパス) ☐ オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	高校生のための「Well-being を追究する特別支援教育」講座 学問分野 番 号 1 4 名 称 教育学					
3. 担当教員	竹林地毅 古殿真大					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 7 年 8 月 5 日 (火) ~ 令和 7 年 8 月 5 日 (火) 9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 (90 分 × 2 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	15 人					
6. 科目内容・ 授業計画	〔講座 1〕(予定) 特別支援教育とは、「障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、…、適切な指導及び必要な支援を行うもの」(文部科学省)です。では、「主体的な取組を支援する」「教育的ニーズ」とは、具体的にはどんなことでしょうか。 また、昨今、Well-being の実現が話題となっています。Well-being とは、「個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される」(WHO)とされています。 そこで、「主体的な取組を支援するとは」「教育的ニーズとは」という問いについて、Well-being の追究という視点から实际的に考えてみましょう。 〔講座 2〕(予定) これからの教師や学校には、児童生徒の協働的な学びの実現や学校内外の関係者の相互作用の実現が求められています(中央教育審議会) 協働的な学びの実現には、他者との対話や振り返りの機会が必要です。また、関係者の相互作用の実現のためには、ファシリテーションの力が必要とされています。 そこで、Well-being の追究する特別支援教育を実現していくため、協働的な学びや相互作用の実現について、演習をとおして体験的に考えてみましょう。					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ ☐ ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6 月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン(同時・録画)の使用ソフト、受講時の注意など 筆記用具					
11. 開設大学への 交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。